

国分寺市地域産業活性化プラン（案）に対するパブリック・コメントの結果について

意見の募集期間：平成 28 年 12 月 16 日（金）
 ～平成 29 年 1 月 16 日（月）

| | |
|-----------------|----------|
| 意見をお寄せいただいた方の数： | 1 |
| | (個人 1 人) |
| お寄せいただいた意見の数： | 4 件 |
| 意見を計画に反映した件数： | 1 件 |
| ※既に含まれている内容の件数： | 3 件 |

※「反映状況」の表記について

有：計画に反映する意見

無：計画に反映しない意見

済：計画案に記載済みの意見

| No. | 区分・項目 | いただいたご意見の概要 | 市の考え方 | 反映状況 |
|-----|--|---|--|------|
| 1 | プラン全体について | プランの主眼はあくまでも商業振興に絞るべきである。自治体間で誘客を競争する時代である昨今、他の自治体の商圈からの集客力アップが、国分寺市にもよい恩恵をもたらすと考える。 | ご意見のとおり、本市の商業を中心とする産業構造を踏まえると、商業振興施策に主眼を置くことは重要であると考えます。本プランも、本市の現状に即して商業を核としつつ、農業や工業、観光等との連携を強化し、相互作用を生み出すことで、まちの魅力向上や地域経済の活性化を図ることを目的として策定しました。 | 済 |
| 2 | 施策の方向性「5. 起業・創業がしやすい環境の形成」について 39～40ページ | 高齢者や若者にも人気のある安いビストロ型の飲食店を国分寺創業塾で育成し、出店を促してはどうか。ぶらぶらしながら買い物を楽しめるよう、場所は、都市計画道路(国3・4・11)の整備後、国分寺街道を遊歩道にし、広場を設け、史跡との連携も考えると目玉の一つになるのではないかと。 | 本プランでは、施策の方向性「5. 起業・創業がしやすい環境の形成」(39ページ)にて、創業塾を含む創業支援事業の充実を位置づけています。また、施策の方向性「3. まちづくりと連動した買い物環境の向上」(35ページ)にて、ぶらぶら歩きができる環境整備に向けてまちづくりと連動した取組の検討を位置づけています。現在、国分寺街道及び都市計画道路(国3・4・11)周辺地区のまちづくりを進めており、平成 26 年度に決定した「国3・4・11 号線周辺まちづくりの方向性」において、国分寺街道エリアは「歩いて身近なショッピングとにぎわいが楽しめるまちづくり」を目指すとしています。今後、その実現に向けたまちづくりの検討を進めます。 | 済 |

| No. | 区分・項目 | いただいたご意見の概要 | 市の考え方 | 反映状況 |
|-----|---|--|--|------|
| 3 | 施策の方向性「6. 地域産業の持続性を高める体制構築」について 41～42ページ | 国分寺市の事業所は中小店舗が多いということ踏まえると、今後の買い物難民や後継者等の課題について持続的に取り組むには、身近な事業所で連携を図ることについて支援する制度が有効になると考える。 | 本プランでは、施策の方向性「2. 地元を楽しむ買い物の促進」(34ページ)にて、買物弱者に対する買い物支援の在り方の検討を位置づけています。また、施策の方向性「6. 地域産業の持続性を高める体制構築」(41ページ)にて、商店会の法人化や事業継承に向けた支援を位置づけています。 | 済 |
| 4 | プランの推進体制について 43ページ | プランの推進体制は庁内関係部署、商工会、商店会、JA、観光協会、関連金融機関等で構成されると記載されているが、ここにプラン全体を俯瞰できるスペシャリストを迎え入れてはどうか。ディレクターレベルとして位置づけることが望ましい。 | 本プランの推進支援と評価を行う(仮称)国分寺市地域産業活性化プラン推進委員会の委員として、商店街の活性化に精通する中小企業診断士等の識見者に依頼することを想定していましたが、明確な記載がなかったため、本文及び図表に加筆修正します。 | 有 |